



報道関係各位

2017 年 5 月 29 日

工学院大学の学生プロジェクトが「鳥人間コンテスト」に 7 年ぶりの出場 ～ 新機体で琵琶湖の空を飛行 ～

工学院大学(学長:佐藤光史、所在地:東京都新宿区/八王子市)の学生プロジェクト「Birdman Project Wendy(以下、B.P.Wendy)」は、2017 年 7 月 30 日(日)に琵琶湖(滋賀県彦根市)で行われる「第 40 回鳥人間コンテスト 2017」への出場が決定しました。同コンテストへの出場は、2010 年以来の 7 年ぶり 5 度目です。

【本件のポイント】

- ・悲願達成、7 年ぶり 5 度目となる「鳥人間コンテスト」への出場が決定
- ・学内の工作機械を活用し、すべての工程を学生自らの手で作り上げる
- ・工学院大学の学生プロジェクトは、「理工学に関する創造活動」を通して創造性を育む

【本件の概要】

工学院大学の学生プロジェクトは、学生グループによる理工学に関する自主的な創造活動を活性化して、学生の創造性を育むと共に、社会でリーダーとして活躍できる人間的な成長を目指して活動しています。そのプロジェクトの 1 つである「B.P.Wendy」は、2001 年の発足から 3 年目となる 2004 年に「鳥人間コンテスト」に初出場、その後出場した 2005 年は第 4 位、2008 年は第 5 位に入る好成績を残しました。今回は前回出場した 2010 年から 7 年ぶり 5 度目となる【人力プロペラ機ディスタンス部門】への出場が決定しました。

「第 40 回鳥人間コンテスト」(主催:読売テレビ放送)は 7 月 30 日(日)に滋賀県の琵琶湖で行われる 2 部門のうち工学院大学のチームは人力プロペラ機ディスタンス部門に出場します。

機体は自作による人力飛行機です。学生プロジェクト「B.P.Wendy」は、新機体『燈火(ともしび)』を学内の施設を利用して、現在、班ごとに機体の様々な部分の製作を行っています。

◆学生代表 小笠原 大地(先進工学部 機械理工学科 3 年)のコメント

7 年ぶりのプラットホーム。これはどんな困難にも負けず、私たちが空に対する“情熱の燈火”を煌々と燃やし続けた結果だと考えます。私たちが目標とする最高の舞台で、チーム最高記録を更新するための準備は万端です。アドバイスや活動に対して支援していただいた方々の想いも乗せて、私たちはこの夏、真っ青なキャンパスに羽ばたきます。

◆工学院大学学生プロジェクト「Birdman Project Wendy」について

- ・部員数:38 名(2017 年 5 月現在)

(主な経歴)

2001 年 Birdman Project Wendy 発足

2004 年 鳥人間コンテスト初出場、「朝凧(あさなぎ)」で滑空機部門 17.33m を記録

2005 年 2 回目の出場、「NAZCA(ナスカ)」で滑空機部門第 4 位 230.88m を記録

2008 年 3 回目の出場、「跳穹(ちょうきゅう)」で人力プロペラ機ディスタンス部門
第 5 位 963.50m を記録

2010 年 4 回目の出場、「夢現(むげん)」で人力プロペラ機ディスタンス部門 33.28m を記録

◆その他の学生プロジェクト

「ロボットプロジェクト」が NHK 学生ロボコン出場、「ソーラーチーム」がオーストラリアで行われる世界大会に参戦予定

→課外活動一覧(学生プロジェクト) <http://www.kogakuin.ac.jp/campuslife/activities/club>



過去のテスト飛行の様子

<取材に関するお問い合わせ>

学校法人 工学院大学 総合企画部広報課/担当:堀口・関根
TEL: 03-3340-1498 / e-mail: gakuen_koho@sc.kogakuin.ac.jp